

令和6年度 事務事業評価シート（１）

〔 令和5年度事務事業 〕

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	男女共同参画啓発関係事業			事業番号	007-047
担当部署名	市民人権	局	ダイバーシティ推進	部	ダイバーシティ企画課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractive～	施策	(8) 女性活躍・働く意欲がある多様な人材の活躍
			有	取組の方向性	③女性が活躍できる社会の実現		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
	堺市SDGs 未来都市計画		無	現状値	—	目標値	—
		施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(5)ジェンダー平等を実現しよう	ターゲット	5.1
			有	取組	男女共同参画に関する啓発		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—
2	関連計画			・第5期さかい男女共同参画プラン【計画年度：令和4年度から令和8年度】			
3	事業開始年度			令和 3 年度	点検対象年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)			・男女共同参画社会基本法 ・女性の職業生活における活躍の推進に関する法律 ・配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律 ・堺市男女平等社会の形成の推進に関する条例			

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁		
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	全市民（約81万人）、事業所（約3万事業所）、市職員（約5,000人）等	対象数	単位
			-	-
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	男女共同参画社会の実現に向け、啓発冊子の発行や記念講演・課題別ワークショップ・研修の開催等により、ジェンダーを正しく理解し、地域における男女共同参画をより一層推進する。また、DV・デートDV・性暴力被害等に関して正しく理解し、暴力の被害者にも加害者にもならないための意識啓発を行い、暴力のない社会の実現を図る。		
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	○男女共同参画社会の実現に向けて、講演会、課題別ワークショップ、ブックフェア等を実施する「さかい男女共同参画週間」の開催 ○堺市内の小学校・中学校・高等学校・大学・専門学校を対象に、専門知識を持つ講師を派遣し、DV・デートDV・性暴力等をテーマとする「デートDV等予防出張セミナー」を実施 ○『女性の権利及び国際平和のための日』として国連が定めた記念日である「国際女性デー（3月8日）」に合わせて図書館でのブックフェアを実施 ○地域における男女共同参画をより一層推進するため、市民団体などが開催する男女共同参画の学習会などに講師を派遣し、講師謝礼の一部を市が負担する「男女共同参画推進講師派遣事業」を実施 ○ジェンダーを正しく理解し、敏感な視点を持ち、地域において男女共同参画を推進する人材を養成する「男女共同参画入門講座」を実施 ○子ども虐待防止と女性への暴力根絶に向けた各種啓発活動を行う「オレンジ&パープルリボンキャンペーン」を実施 ○大阪公立大学の学園祭にてオレンジ&パープルリボン、セーフティさかいのパネル展を実施		
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	—		
10	公民連携・協働事業	ウィメンズセンター大阪		

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標 点検対象年度
				令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	デートDV等予防出張セミナー参加者理解度	%	目標値	98	100	100	100
			実績値	98	97		
			達成率	100%	97%		
	当該指標を選定した理由	暴力の被害者にも加害者にもならないという意識の醸成を行い、理解を深めることで、ジェンダーに一因があるとされる暴力を防止し、男女共同参画社会の実現を図るため。					
12	目標値の設定根拠・算出方法	本講座のアンケートで、「よくわかった」「少しわかった」と回答した人の割合。令和6年度は引き続き参加者全員に理解してもらうことをめざすために設定。					
	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
				令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	デートDV等予防出張セミナー参加者数	人	目標値	1,200	1,600	1,600	
			実績値	1,468	1,516		
			達成率	122%	95%		
	当該指標を選定した理由	DV、デートDV等を正しく理解し、1人でも多くの若年層に予防啓発を行うため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	出張セミナーを受講した人数。令和6年度は近年の参加者の推移より設定。					

令和6年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	男女共同参画啓発関係事業	事業番号	007-047
-------	--------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

事業費 (a)	令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	1,560	2,056	2,910	1,782	2,384
財源					
国支出金	623	1,017	1,467	793	1,612
府支出金			0		0
市債			0		0
その他 ()			0		0
受益者負担金(使用料、手数料等)			0		0
一般財源	937	1,039	1,443	989	772
人件費 (b)	9,840	9,840	12,687	12,930	9,660
年間経費(c)=(a)+(b)	11,400	11,896	15,597	14,712	12,044

事業費の内訳

（単位：千円）

16事業費内訳	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
	さかい男女共同参画週間/男女共同参画入門講座	R5	決算	793	363	印刷製本費	R5	決算	171	129
		R6	予算	1,053	169		R6	予算	68	0
	デートDV等予防出張セミナー	R5	決算	418	193	通信運搬費	R5	決算	12	12
		R6	予算	927	588		R6	予算	12	12
	謝礼金	R5	決算	137	68	委託料	R5	決算	0	0
		R6	予算	191	0		R6	予算	100	0
	使用料及び賃借料	R5	決算	27	0	その他（食糧費等）	R5	決算	125	125
		R6	予算	30	0		R6	予算	3	3
	備品購入費	R5	決算	99	99		R5	決算		
		R6	予算	0	0		R6	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和4年度	令和5年度
	人	1,468	1,516
① デートDV等予防出張セミナー参加者数	人	1,468	1,516
② 上記①にかかる年間経費	千円	743	878
③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	506	579
備考（算出についての説明等）	経費は（人件費＋講師謝礼金等）で算出。		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	デートDV等予防出張セミナーについて、令和5年度は、令和4年度と比べて参加者数は増加したものの講座実施回数自体も増加したため、参加者1人に係る単位当たり経費は前年度より増加した。より多くの若年層の市民に本セミナーを受講してもらい、セミナー参加者に対して、被害者にも加害者にもならないという当事者意識を高める啓発を引き続き行う。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	男女共同参画に関する基本的な知識を学び、実践を積むことができる、男女共同参画週間講演会や講座等を実施し、多くの市民を対象とした啓発を行った。中でも、男女共同参画入門講座については、動画配信といった集合型以外の形態でも実施するなど、実施手法を工夫することで、参加者増加に繋げることができた。 また、パネル展や各種イベントなど様々な機会を捉え、さらにSNSや広報さかい等様々な媒体を活用することで、多くの市民にDV・デートDV等の暴力の予防啓発をはじめとする男女共同参画に関する意識醸成を図り、啓発や情報発信を行うことができた。 講演会・講座等の実施後のアンケートでは「関心や理解が深まった」と参加者の多くが回答しており、ジェンダーの理解促進に繋げており、効果的な啓発を行うことができている。 以上により、「ゴール（5）ジェンダー平等を実現しよう」に寄与していると考える。
----	---